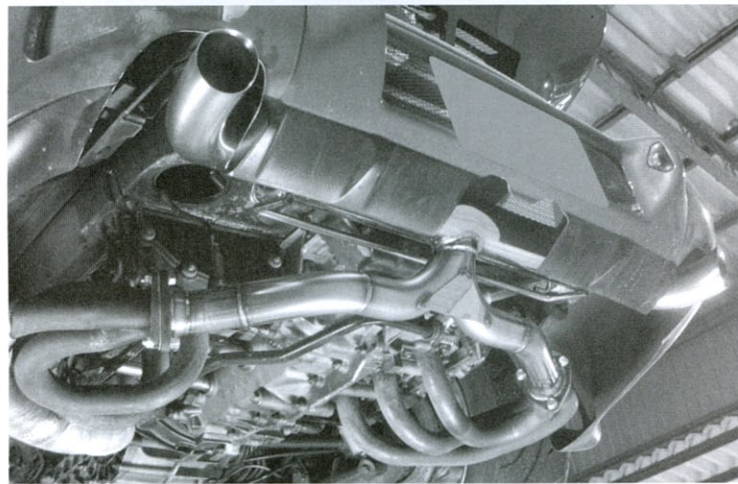


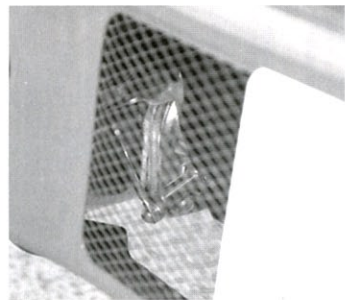
排気系の製作で知られるトータルが音量を可変できるマフラーを製作した。普段は静かなマフラーで、ここ一番という時には排気抵抗が少ないほうを使える便利なもの。詳しくみてみよう。

音量可変マフラーの製作



←音量可変マフラーを製作、取付作業中の吉岡RS。左右バンクからこのようにマフラー部分に排気を集合させている。

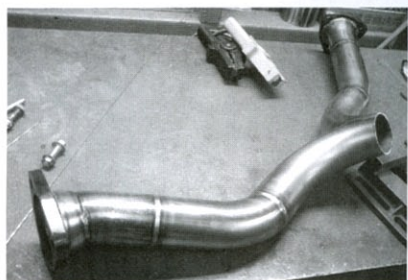
→吉岡RSのリアバンパーに設けたダクトからソレノイドバルブの部分が見える。
↓装着したマフラーをのぞき込んでも、ごく普通のマフラーにしか見えない。



←取付前の音量可変マフラー。写真手前に見えるのが作動用のソレノイドバルブ。内部でバタフライが回転して排気の通路を切り替える。

ソレノイドバルブで切り替える
パワーを出しやすいマフラーは、一般的には排気音の大きな、いわゆるうるさいマフラーが多い。走ることを優先させると、どうしてもそうなりがちだが、静かな住宅街に住んでいる人とか、通勤や普段乗りでもポルシェを使っている人は、やはり近所の目や周りのことを気にしてしまう。普段は静かで、サーキットに行ったら気持ちよく全開走行ができて、パワーが出せるようなマフラーがあればいいのに、という思いは昔からポルシェ乗りたちの願いだっただ。

それに応えようと、トータルが音量可変マフラーを製作した。構造的にはソレノイドバルブを使って切り替えるやり方だ。もう少し詳しくいうと、左右のバンクから60φで入ってきた排気は1本に集合してマフラーに流れるが、このマフラーの中は2つに分かれていて、片方は消音効果の高い部分、もう片方はパワーが出しやすい部分になっている。それを手動で切り替えることでソレノイドが作動してバタフライを動かし、静かなほうからパワー系へ、あるいはその逆に排気の流れを変えて音量を可変させるシステムだ。実際にこの本の48ページで紹介している吉岡964RSに装着されているので、そのうちに長期間のインプレッションや耐久面の話も聞けるだろう。ともかく、ポルシェ乗り全員の夢といってもいい音量可変マフラーができたのはまさに朗報だ。



←これは製作途中のワンシーン。左右バンクからマフラーに集合させる部分を作っているところ。

●取材協力=トータル/TEL 029-835-7288